

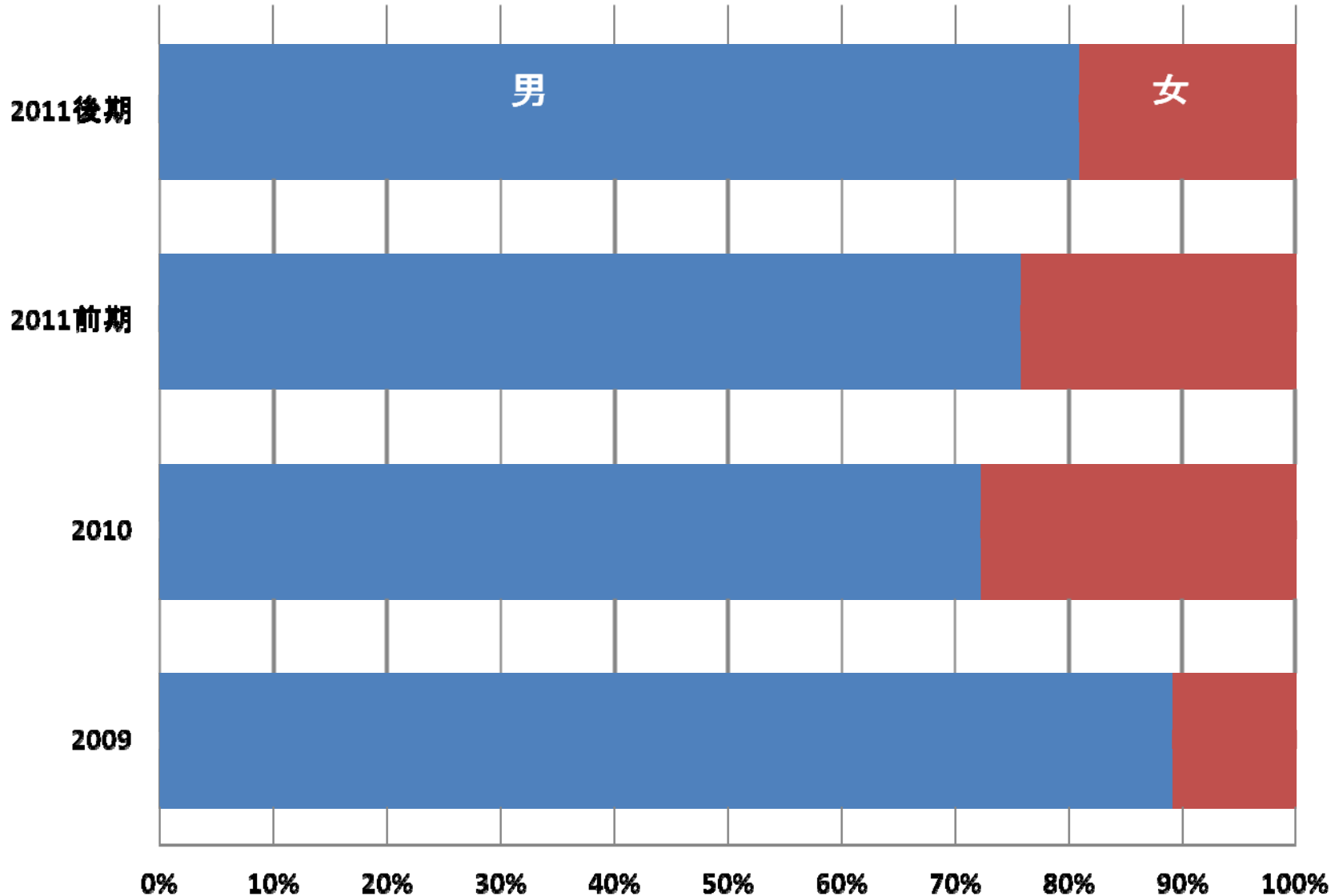
応募者、受講者の状況

年度	科目数	応募者	科目当り応募者	受講者	科目当り受講者	平均出席率
2005	7	111	15.9	111	15.9	56.9%
2006	7	90	12.3	90	12.3	54.8%
2007	7	122	17.4	122	17.4	51.8%
2008	3	106	35.3	106	35.3	52.4%
2009	2	64	32	58	29	72.6%
	環境	34		31		70.6%
	素材	30		27		74.8%
2010	2	54	27	53	26.5	69.8%
	環境	29		29		69.9%
	素材	25		24		69.7%
2011	4	117	29.3	117	29.3	63.8%
	研究工業化	32		32		66.3%
	機能化学品	38		38		61.4%
	環境	18		18		76.3%
	素材	29		29		56.3%

2011年度の開講科目

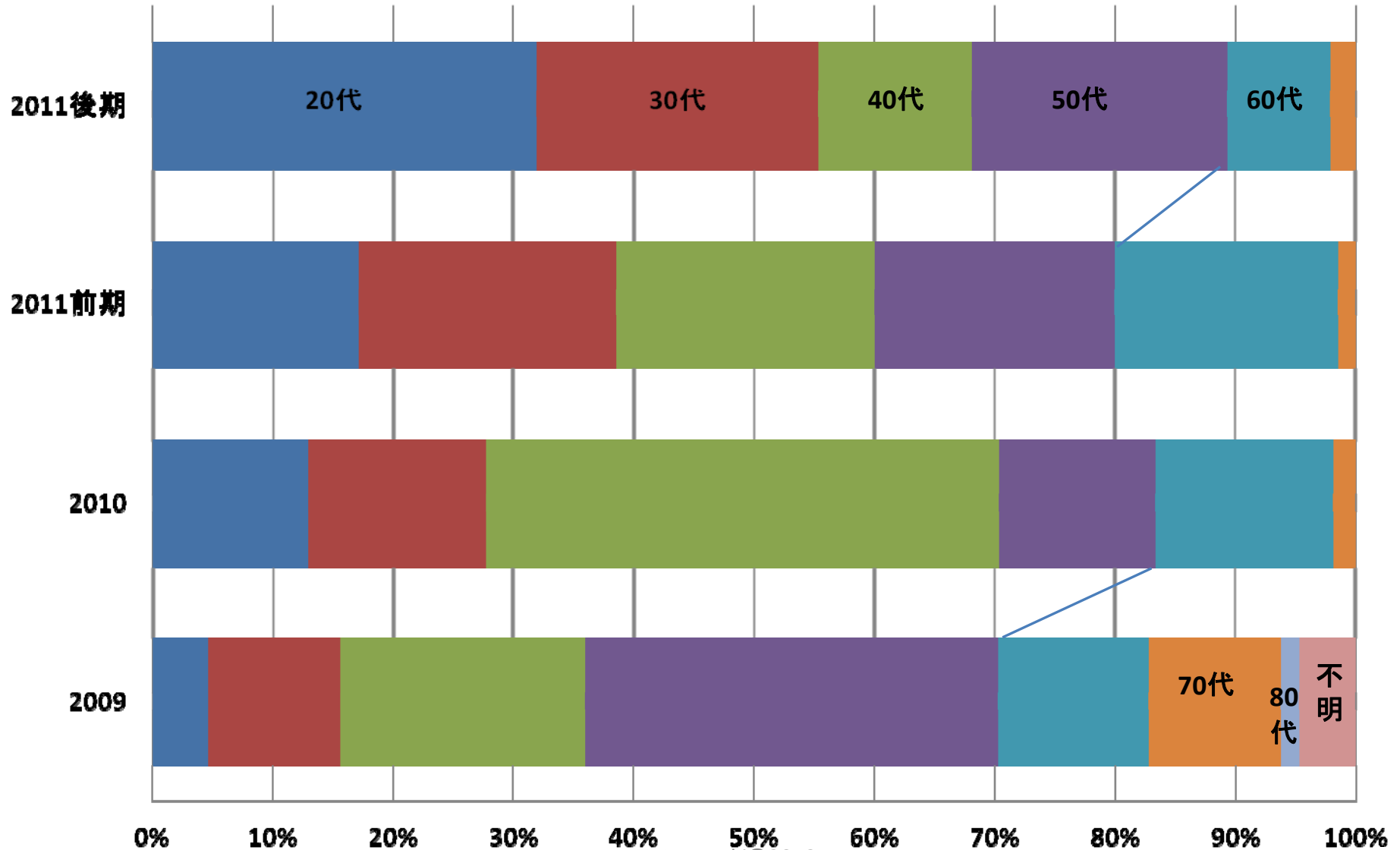
科目No.	科目名	副題	連携機関	科目の満足度 (「満足」、「非常に満足」の割合)	受講者のコメントの一例
VT513	化学技術事例研究	研究の工業化の成功と失敗事例から成功の羅針盤を探る	SCE・Net	84.6%	研究開発の経験談は社内だけでは数が限られるので、貴重な機会であった。研究者としては共感する内容が多く、自信になった。
VT526	機能化学品実践論	生活を演出する機能化学品(パフォーマンスケミカル)の働き	三洋化成工業	100%	界面活性剤メーカーからまとまって掘り下げた話を聴く貴重な機会であった。
VT523a	化学技術特論1a	環境に貢献する化学技術	SCE・Net	100%	環境という広い分野について詳しく聴けた。特に廃棄物リサイクル業者の見学は有益であった。
VT523b	化学技術特論1b	社会を支える素材と化学工業	SCE・Net	100%	化学産業の歴史から最新の技術まで網羅され、カリキュラムとして良くオーガナイズされていた。講師の陣容も講義資料も充実していた。

受講者の男女比



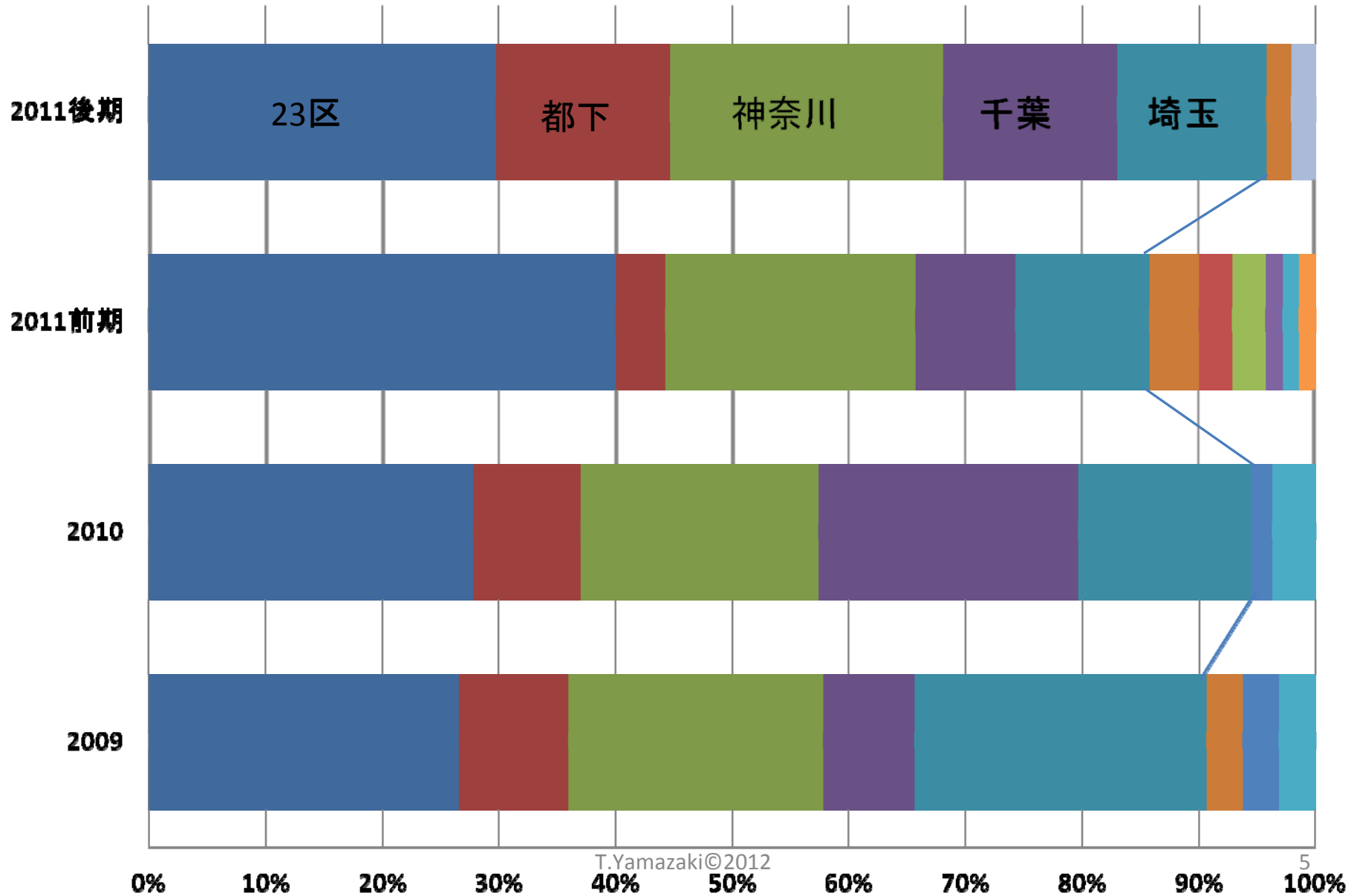
受講者の年代別の割合

■ 20～29 ■ 30～39 ■ 40～49 ■ 50～59 ■ 60～69 ■ 70～79 ■ 80～ ■ 不明



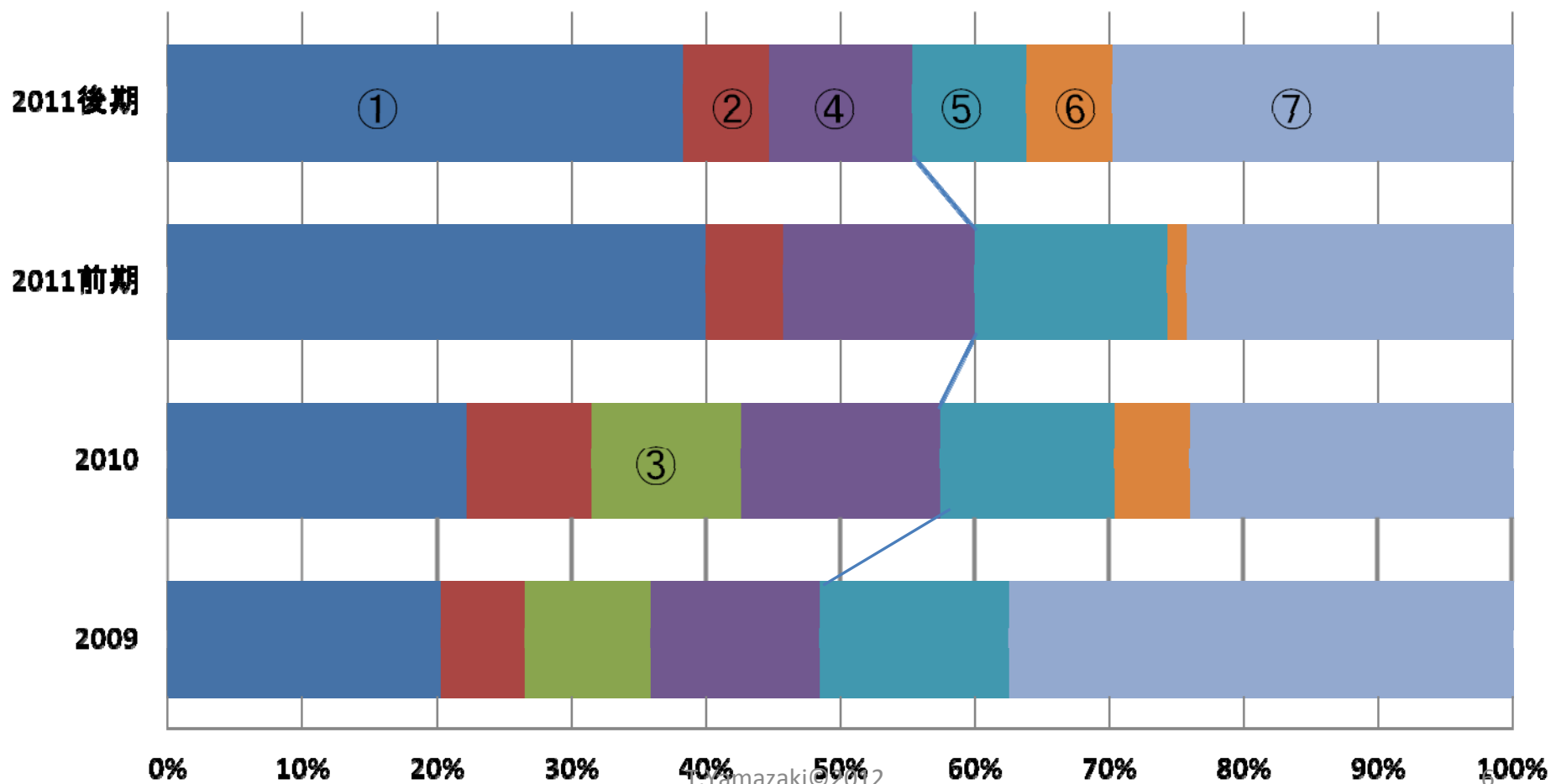
受講者の住居地域の割合

■ 23区 ■ 都下 ■ 神奈川 ■ 千葉 ■ 埼玉 ■ 茨城 ■ 群馬 ■ 長野 ■ 静岡 ■ 福井 ■ 大阪 ■ 滋賀 ■ 兵庫



受講者の職業別の割合

- ① 化学工業・石油製品製造(製薬含)
- ② 電気機械器具製造
- ③ 精密機械器具製造
- ④ その他の製造業
- ⑤ 専門サービス・コンサルティング
- ⑥ 大学学部・院生・研究職
- ⑦ その他



修了者の状況

年度	科目数	受講者	修了者	科目当り修了者	修了率
2005	7	111	65	9.3	58.6%
2006	7	90	51	7.3	56.7%
2007	7	122	54	7.8	44.3%
2008	3	106	45	15	42.5%
2009	2	58	38	19	65.5%
	環境	31	20		64.5%
	素材	27	18		66.7%
2010		53	24	12	45.3%
	環境	29	14		48.3%
	素材	24	10		41.7%
2011		117	前期のみ26	前期のみ13	37.1%
前期	研究の工業化	32	13		40.6%
	機能化学品	38	11		28.9%
後期	環境	18	(10)		(55.6%)
	素材	29	—		—

2012年度の開講科目

	科目No.	科目名	副題／講義数	連携機関	科目の概要
共催講座	VT513	継続 化学技術事例研究	研究の工業化の成功と失敗事例から成功の羅針盤を探る／15講義	SCE・Net	シニアエンジニアが研究の工業化事例を紹介し、そこから導かれる成功への羅針盤を自らの思いとして語る。
	VT526	継続 機能化学品実践論	生活を演出する機能化学品(パフォーマンスケミカル)の働き／15講義	三洋化成工業	生活の中で使われる界面活性剤タイプの機能化学品の働きを、生活者やユーザー技術者向けに分かり易く語る。
	VT523a	継続 化学技術特論1a	環境に貢献する化学技術／15講義	SCE・Net	最近の環境分野の技術進歩とその成果を講師の体験を交えて解説する。廃棄物リサイクル企業の現場見学を行い講義への理解を深める。
	VT523b	継続 化学技術特論1b	社会を支える素材と化学工業／15講義	SCE・Net	化学工業の歴史のそれぞれの段階で生み出された素材とその技術が社会や生活に与えた影響、今後の展開を論じる。
関連講座		新規 原子力・放射能基礎論	原子力と放射能の基礎を学ぶ／8講義	SCE・Net	原発事故以来、社会的関心事となっている原子炉安定化のための工程や放射性物質による環境や事物への汚染や安全に関わる情報を正確に理解し判断するために必要な原子力や放射線に関する知識を提供する。
		新規 エネルギーシステム論	エネルギーの供給と消費の革新／10講義	ブルーアース	日本のエネルギー問題について現状と新エネルギーの展望から省エネルギーまでエネルギー供給システムと消費の正確な知識を体系的に提供する。